

■第28回羽山台空家対策プロジェクト会議を開催しました！

令和2年2月12日（水）第28回羽山台空家対策プロジェクト会議を竹の原公民館にて開催し、次の内容について協議しました。

【協議事項等】

○現在の空家対策検討課題について

- ・住まいるノートについて
→民生委員への説明予定。時期については未定。
- ・空家予防対策調査表について
→追加データを整理中。民生委員の負担も考慮し、4月の羽山台広報紙へ掲載してみてはどうか。調査がしやすいように、名札、ワッペン、調査員証が欲しいという意見が出ました。

○空家見回り代行

- 12月の羽山台広報紙へ掲載したが、草刈依頼が1件と反応は薄い。今後の周知方法として、納税通知書の活用や、新聞社への取材依頼を検討しました。

○空家実態調査

- ・市でデータ化した空家地図と空家台帳をメンバーに渡し、更新を依頼しました。
- ・Dランク空家等について
→地域は、老朽化の進行したDランクを発見した場合、市へ報告してください。報告を受けた市は現地調査や所有者調査を行い、所有者等へ指導します。

○その他

- ・「令和元年度卒業研究論文発表会」について
→2月6日に有明高専で開催された「卒業研究論文発表会」に参加しました。
以前インタビューに来られた有明高専建築学科藤原研究室の生徒さんは、素晴らしい発表でした。

【居住支援協議会との連携会議のようす】



【編集後記】

1月28日に居住支援協議会、羽山台プロジェクトメンバー、市の3者による空家対策の連携を図るため会議を行いました。

羽山台校区の空家を住宅確保要慮者へ紹介し、地域の力で入居者に対する見回り等のフォローをどこまでできるか話し合いました。当プロジェクトメンバーから、「地域に眠る空家をお金儲けではなく、現在、住まいに困っている人のために使ってほしい」との意見が出され、空家を解体するだけでなく、空家を活用していくことの必要性をメンバー一同で認識しました。

今回の会議は、羽山台空家対策プロジェクトの可能性を広げた一日となり、使える空家の紹介について、市も何かお手伝いできないかと思っています。

<N>